令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用事業に係る実績及び効果検証

No	事業名	所管課	事業の概要 （目的及び効果並びに対象経費）	総事業費 （A）	交付金充当 経費（D）	事業経費内訳 （Aの内訳）	実績及び効果検証	事業開始 年月日	事業完了 年月日
1	遠隔・オンライン学習の環境整備、GIGAスクール構想への支援事業	管理課	文部科学省のGIGAｽｸｰﾙ構想に基づき、小中学校の全児童生徒及び教職員のPC端末を購入し、各学校で活用する。	57,594,420	52,289,000	情報機器等設定委託料：10,808,160円 備品等購入費（タブレット購入等）：46,786,260円	（実績） GIGAスクール用タブレットPC2,414台の整備。 （効果検証） 小中学校におけるコロナ感染症対策のための臨時休業等時において、タブレットPCを使用した健康観察、オンライン授業等を行い、切れ目ない学習環境の提供の一役を担うことができた。	令和2年10月1日	令和3年3月31日
2	市内旅館応援事業	商工観光課	観光客等の減少により打撃を受けている業種（旅館業）に対して支援を行い、収束後の地域活性につなげる。 市民を対象とした、市内旅館の宿泊料補助金及びPR経費。	7,668,993	7,285,000	補助金：7,668,993円	（実績） 東北6県及び新潟県内在住者を対象に、1泊2食付き宿泊サービスの提供に対し最大5,000円の宿泊補助。 （効果検証） 新型コロナウイルス感染症の影響によって宿泊者が激減している市内旅館等の利用促進が図られた。	令和2年6月1日	令和3年3月31日
3	タクシー等利用応援事業	商工観光課	観光客等の減少により打撃を受けている業種（タクシー・運転代行業者）に対して支援を行い、収束後の地域活性につなげる。 タクシー・運転代行業者利用料補助金及びPR経費。	11,392,038	10,822,000	役務費（クーポン代金）：11,392,038円	（実績） 午後8時～翌日午前2時に、事業参加飲食店を利用した方（県内在住者のみ）に対して、タクシー・運転代行の料金上限1,000円まで補助。 （効果検証） 市内飲食店を利用した方に対し、タクシー又は運転代行の利用機会を促進し、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ夜間の経済活動の回復が図られた。	令和2年6月1日	令和3年3月31日
4	飲食店家賃支援給付金	商工観光課	観光客等の減少により打撃を受けている業種（飲食店）に対して支援を行い、収束後の地域活性につなげる。 飲食店への家賃補助金。	17,118,333	16,262,000	給付金：17,118,333円	（実績） ・4月の家賃の7割（上限70千円）×2か月 〇給付件数　154件 （効果検証） 売上が激減している飲食店に給付することで、事業継続が図られた。	令和2年4月1日	令和3年3月31日
5	タクシー・運転代行業等支援給付金	商工観光課	観光客等の減少により打撃を受けている業種（タクシー・運転代行業者）に対して支援を行い、収束後の地域活性につなげる。 タクシー・運転代行業者、旅行代理店業、貸切バス業者への支援金。 令和2年3月又は4月の売上げが前年同期と比較して20パーセント以上減少している者を対象とする。	3,850,000	3,657,000	給付金：3,850,000円	（実績） ・事業規模に応じて給付（上限100千円） ・タクシー・代行・貸切バス業：登録車両1台目30千円+2台目以降@20千円 ・旅行業：社員1人目30千円+2人目以降@20千円 ・旅館・ホテル業：客室1室目30千円+2室目以降@20千円 〇給付件数　38件 （効果検証） 観光客等の減少で売上が激減している事業者の事業継続が図られた。	令和2年4月1日	令和3年3月31日
6	外食テイクアウト・配送事業支援事業	商工観光課	令和2年3月以降に新規又は拡充してテイクアウト又は宅配サービスに取り組む事業者に対して支援金を給付する」ことで、事業を後押しする。	2,850,000	2,707,000	給付金：2,850,000円	（実績） ・新たにテイクアウト・宅配サービスに取組む事業者に給付（一律30千円） 〇給付件数　95件 （効果検証） 来店客数が激減している飲食店等の、事業継続に寄与した。	令和2年4月1日	令和3年3月31日
7	旅館・ホテル事業継続支援給付金	商工観光課	観光客等の減少により打撃を受けている旅館・ホテル業に対して支援を行い、収束後の地域活性につなげる。 旅館・ホテル事業者への支援金。令和2年4月の売上げが前年同期と比較して50パーセント以上減少している旅館・ホテル事業者が対象。	14,240,000	13,528,000	給付金：14,240,000円	（実績） ・H31年3月～R2年2月の期間 宿泊者数×120円 日帰り客数×50円 〇給付件数　19件 （効果検証） 観光客等の減少で売上が激減している宿泊業者の事業継続が図られた。	令和2年5月1日	令和2年3月31日
8	地元商店応援　プレミアムクーポン事業	商工観光課	自粛等で打撃を受けた市内の商店に対して支援を行い、収束後の地域活性につなげる。商品券4千円分（500円×8枚）を3千円で販売。商品券は5万冊発行。	51,668,450	51,600,000	役務費（クーポン取扱手数料）：49,879,000円 消耗品費：304,512円 印刷製本費：1,323,934円 通信運搬費：161,004円	（実績） プレミアムクーポン販売希望事業者が、1枚4,000円（500円×8個）のクーポンを3,000円で販売。事業者には、予めクーポンを引渡し、プレミアム分（1枚1,000円）を先払い。 ・初回販売：希望事業者数：314店舗、総枚数：37,700枚 ・追加販売：希望事業者数：228店舗、総枚数：12,300枚 （効果検証） 市民生活を下支えし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、営業自粛等により売上げが激減した地元商店等における消費を喚起した。	令和2年6月1日	令和3年3月31日
9	子育て世帯臨時交付金事業	すこやか子育て課	国の子育て世帯への臨時給付金に、市単独で上乗せし、子育て世代の経済的支援を行う。	41,090,000	41,000,000	給付金：41,090,000円	（実績） 児童手当受給者3,667人に1万円給付。 児童扶養手当受給者343人に1万円給付。 就学援助認定世帯の児童生徒99人に1万円給付。 （効果検証） コロナ禍における子育て世帯への給付金支給を通じ、子育て世帯の生活の安定化が図られた。	令和2年5月1日	令和3年3月31日
10	南陽市畜産農家（酪農・肉用牛）経営継続支援事業	農林課	内農業経営体（酪農・肉用牛【肥育・繁殖】）に対し、一律10万円の経営継続支援金を給付し、営農継続に向けての支援を行う。	2,500,000	2,375,000	支援金：2,500,000円	（実績） 25経営体に対し一律10万円を交付、 （効果検証） コロナ禍において支援金により畜産農家を下支えすることで、営農継続に繋がった。	令和2年8月1日	令和3年3月31日

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用事業に係る実績及び効果検証

No	事業名	所管課	事業の概要 （目的及び効果並びに対象経費）	総事業費 （A）	交付金充当 経費（D）	事業経費内訳 （Aの内訳）	実績及び効果検証	事業開始 年月日	事業完了 年月日
11	公共的空間安全・安心確保事業	福祉課	福祉事業者への支援。	9,400,000	8,930,000	負担金補助及び交付金（給付金）： 9,400,000円	（実績） ・職員数30人以上の事業所に300千円 ・職員数29人以下の事業所に200千円 ・職員数9人以下の事業所に100千円 ・居宅介護支援事業所に50千円 （効果検証） コロナ禍における市内の高齢者・障がい福祉サービス事業者へ給付金を支給することで、感染症予防が図られ、サービス提供の継続につながった。	令和2年5月8日	令和2年7月15日
12	公共的空間安全・安心確保事業	総務課	市庁舎1階の感染症対策。1階窓口に隔壁を設置しウイルスの飛散防止を図るとともに、サーマルカメラを設置する。	5,844,300	5,800,000	備品購入費 ・非接触型発熱検知サーマルカメラ（1台）181,500円 ・窓口パーテーション（一式） 4,840,000円 ・待合用ロビーチェア（レザー） @49,027円×14脚＝686,378円 @15,158円×9脚＝136,422円	（実績） ・1階窓口入り口に非接触型発熱検知サーマルカメラを設置した。 ・1階窓口に、飛沫感染対策としてパーテーションを設置するとともに、消毒ができるレザー製の待合用椅子を整備した。 （効果検証） 1階窓口の感染症対策の環境を整備することにより、職員、来庁者の感染防止の強化につながった。	令和2年8月1日	令和3年3月31日
13	新・生活様式対応支援事業	商工観光課	新しい生活様式に対応するための設備等を導入した事業者に対し、補助金を交付する。補助額は1件あたり最大20万円。県市協調事業（事業者負担なし）。	124,009,000	59,551,000	補助金：124,009,000円	（実績） 県との協調事業、補助率10/10、上限200千円 〇交付件数　690件 （効果検証） 新型コロナ感染防止対策を補助することで、事業者の事業継続が図られた。	令和2年8月1日	令和3年3月31日
14	オンライン化促進支援事業	商工観光課	テレワーク環境整備に取り組む事業者に対し、補助金を交付することで支援を行う。県市協調事業（事業者負担1/3）。	3,969,000	1,884,000	補助金：3,969,000円	（実績） 県との協調事業、補助率2/3、上限1,000千円 〇交付件数　10件 （効果検証） テレワーク環境整備を補助することで、事業者の事業継続が図られた。	令和2年8月1日	令和3年3月31日
15	利子補給及び保証料補給事業	商工観光課	緊急経済対策利子補給補助金、中小企業緊急経済対策利子補給金及びそれに付随する保証料の支給事業。中小企業緊急経済対策利子補給金の利子補給金部分のみ、県市協調事業。 補助金（令和2年度分）及び積立金（令和3年度～令和7年度分）。	298,207,055	277,300,000	利子補給金：41,755,008円 保証料補給金：16,465,047円 基金積立金：239,987,000円	（実績） ・県、市、信用保証協会が協調して実施した「地域経済変動対策資金（実質無利子融資）」の市負担分の保証料補給及び利子補給 ・後年度負担分を基金に積立 （効果検証） 事業者の資金繰り支援を行うことで、事業継続が図られた。	令和2年8月1日	令和3年3月31日
16	事業持続化給付金事業	商工観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により、売り上げが減少した事業者の事業継続を支援するため、市独自に給付金を交付する。	12,000,000	11,400,000	給付金：12,000,000円	（実績） ・国の持続化給付金の要件に満たない事業者が対象 ・売上減少率前年同月比20～50%を対象 〇給付件数　76件 （効果検証） 売上が減少している事業者の事業継続が図られた。	令和2年8月1日	令和3年3月31日
17	南陽市飲食店経営支援給付金事業	商工観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により、売り上げが減少した飲食店を支援するため、市独自に給付金を交付する。	36,000,000	34,200,000	給付金：36,000,000円	（実績） ・R2年11月、12月又はR3年1月の売上減少率が、前年同月比50%以上 〇給付件数　180件 （効果検証） 売上が激減している飲食店の事業継続が図られた。	令和2年12月1日	令和3年3月31日
18	新・生活様式対応支援事業	商工観光課	緊急事態宣言により、売り上げが激減している観光業者（旅館、ホテル、旅行業、旅行代理店、タクシー、バス、運転代行等）に対し、経営を支援するため、市独自に給付金を支給する。	12,540,000	11,910,000	給付金：12,540,000円	（実績） ・旅館、ホテル業　客室1室目100千円＋2室目以降1室当たり30千円 ・旅行業、旅行業者代理業　社員1人目100千円＋2人目以降1人当たり30千円 ・貸切バス業　登録車両1台目100千円＋2台目以降1台当たり30千円 ・タクシー、運転代行業　登録車両1台目100千円＋2台目以降1台当たり30千円 （効果検証） 新型コロナウイルス感染症の影響によって、売上げが激減している観光業等に給付し、経営継続支援が図られた。	令和2年12月1日	令和3年3月31日
19	特別定額給付金事業（新生児子育て特別応援金）	市民課	令和2年度において国が実施した特別定額給付金の支給対象とならない新生児（4月28日～3月31日誕生）に対し、一律10万円を給付し、子育て世代の支援を行う。	14,600,000	7,000,000	給付金：16,500,000円 （うち3月末までの支払い分 14,600,000円が交付金事業分）。	（実績） 4月28日～3月31日誕生児　165人（3月末までに支払い対象者　146人） 165人に対し10万円給付（うち1/2が県補助） （効果検証） コロナ禍において国が実施した特別定額給付金の支給対象とならない新生児を養育する家庭の経済的負担の軽減が図られた。	令和2年10月1日	令和3年3月31日
20	予防接種助成事業	すこやか子育て課	新型コロナウイルス感染症と見分けがつきにくい季節性インフルエンザの予防対策を行うことで、市民生活安心に繋げる。	8,181,000	8,100,000	委託料：8,109,000円 助成金（償還払い）：72, 000円	（実績） 高齢者　定期接種対象者で6,194人に対し既存の助成金に500円上乗せし助成。 任意　中学3年生を除く、生後6か月児から高校3年生までを対象に一人2,000円助成。 （効果検証） 予防接種を希望した対象者の経済的負担軽減が図られた。	令和2年10月1日	令和3年3月31日
合計				734,722,589	627,600,000				